

みなさま、こんにちは。11月の都立図書館通信です。

都立中央図書館がある有栖川宮記念公園の木々が色づき、澄みきった空の青色とのコントラストがとても美しい季節になりました。正面入口前にある大銀杏の葉が、黄金色に輝く日も間近です。

今月も、様々な情報を皆様にお届けいたします。どうぞお付き合いください。

★11・12月の休館日：11月17日(金)、12月7日(木)、15日(金)

★年末年始の休館日：12月29日(金)～1月3日(水)

< 目次 > =====

- 【1】中央図書館情報
- 【2】多摩図書館情報
- 【3】Pick Up 情報の泉
- 【4】司書が選ぶ調べものに使える本
- 【5】都市・東京情報
- 【6】蔵書検索サービス等を一時休止します

=====

【1】中央図書館情報

■ シリーズ展示

「～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～」

世界中の国のこともっと知ろう！第7回－アフリカPart2編

○同時開催：機関誌『アフリカ』表紙原画展、「アフリカ講座」

～～*～*～*～*～*

都立中央図書館では、世界の国・地域の生活や文化を、豊富な所蔵資料を使って紹介するシリーズ展示を行っています。東京2020大会の開催を3年後に控えた今、世界の国々と人々のことをもっとよく知ってみませんか？

第7回目は、エチオピアやカメルーン、南アフリカ共和国など、中部・東・南部アフリカを中心とした32か国を取り上げます。

シリーズ最終回となる今回は、ケニアの風景や人々を描いたアフリカ協会の機関誌『アフリカ』の表紙画の原画展を同時開催！さらに、アフリカ文化を楽しく学べる「アフリカ講座」を多数開催します。

会期 11月27日(月)から1月14日(日)まで

午前10時から午後8時まで（土日祝は午後5時30分まで）
会場 都立中央図書館 企画展示室（4階）

詳しくは、都立図書館ホームページをご覧ください。

<http://www.library.metro.tokyo.jp/home/news/tabid/2287/Default.aspx?itemid=1702>

【アフリカ講座】

シリーズ展示「～東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて
～世界中の国のこともっと知ろう！ 第7回－アフリカ Part 2 編」
にあわせて、元大使等による、アフリカ文化を楽しく学ぶ「アフリカ講座」を全6回開催します。ぜひ、ご参加ください。

○第1回

「中部アフリカで見たこと、感じたこと」

日付 12月2日（土）

講師 高倍宣義氏（元コンゴ民主共和国大使、アフリカ協会特別研究員）

○第2回

「アフリカの人々の生活と文化について ―西アフリカの国々に勤務し、訪問した経験から」

日付 12月5日（火）

講師 富田嘉孝氏（元ギニア大使、アフリカ協会特別研究員）

○第3回

「世界一やさしいアフリカ基礎講座」

日付 12月9日（土）

講師 萩原孝一氏

（元UNIDO職員、桜美林大学非常勤講師、アフリカ協会特別研究員）

○第4回

「鳥の眼と蟻の眼で見るアフリカ：ザンビア、ケニア、モザンビーク」

日付 12月13日（水）

講師 橋本栄治氏（前モザンビーク大使、アフリカ協会特別研究員）

○第5回

「描きながら考えたアフリカ」(機関誌『アフリカ』表紙原画展ギャラリートーク)

日付 12月16日（土）

講師 坂田泉氏（OSAジャパン会長、建築家、アフリカ協会特別研究員）

○第6回

「南部アフリカの人々はどんな暮らしをしているのか」

日付 12月19日（火）

講師 福田米蔵氏（元ジンバブエ大使、アフリカ協会特別研究員）

各回共通

時間 午後2時から午後3時まで
会場 都立中央図書館 4階企画展示室
その他 事前申込不要、無料
問合せ 03-3442-8451 (代)

■<申込受付中!>トークイベント

「誰もが輝ける社会へ ～私たちのパラリンピックへの挑戦～」

～～*～*～*～*～*

東京2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、夫婦でリオ2016 パラリンピックに出場されたパラリンピアンの方の廣瀬ご夫妻と、オリンピック研究の和田浩一教授を招き、トークイベントを開催します。

廣瀬ご夫妻には、リオ2016パラリンピックでの経験をはじめ、東京2020パラリンピックへの抱負などを語っていただきます。

トークイベント終了後、ゲストと一緒に写真撮影ができるフォトセッションも実施する予定ですので、是非ご参加ください。

ゲスト 廣瀬順子選手 (リオ2016パラリンピック銅メダリスト)
廣瀬悠選手 (リオ2016パラリンピック9位)
和田浩一教授 (フェリス女学院大学)

日時 12月3日(日) 午後2時から午後4時まで
会場 都立中央図書館 多目的ホール(4階)
定員 100名(申込者多数の場合は抽選、無料)
申込み 都立図書館ホームページ又は往復はがき

詳しくは、都立図書館ホームページをご覧ください。

<http://www.library.metro.tokyo.jp/event/tabid/3062/Default.aspx>

■カザフスタン共和国国立アカデミック図書館と

図書館の国際交換を行いました!

～～*～*～*～*～*

このたび、カザフスタン共和国の国際的な文化広報活動の一環として、都立図書館が、日本で初めて、同国国立アカデミック図書館と図書館の交換を行いました。

これを記念して、寄贈いただいた図書等を展示しています。ぜひご覧ください!

○カザフスタン共和国から寄贈された図書

カザフスタンに関する図書(歴史・文化・政治・経済・文学など)
カザフ語、ロシア語、英語 約100冊

【展示コーナー】

今回寄贈いただいた図書、都立中央図書館所蔵の同国関連図書及び写真パネルを展示しています。

会期 11月14日（火）から

午前10時から午後9時まで（土日祝は午後5時30分まで）

会場 都立中央図書館 4階閲覧室

■このほかにも、館内各所で様々なミニ展示を行っています。

～～*～*～*～*～*

11月の展示ガイドはこちらからご覧いただけます。

<http://www.library.metro.tokyo.jp/event/tabid/1225/Default.aspx>

■都立中央図書館電子書籍端末展示延長のお知らせ

都立図書館では、電子書籍サービスの一環として、自由に体験していただける端末展示を館内で実施しています。

このたび、より電子書籍を知っていただき、活用していただくため、都立中央図書館での展示時間を延長しました。どうぞお気軽にご利用ください。

展示時間 午前10時から午後8時30分まで

（土日祝は午後5時まで）

展示場所 都立中央図書館 中央ホール（1階）

詳しくは、都立図書館ホームページをご覧ください。

<http://www.library.metro.tokyo.jp/search/tabid/3838/Default.aspx>

【2】多摩図書館情報

■「東京マガジンバンクカレッジ」イベントのお知らせ（平成29年度後期）

～～*～*～*～*～*

「東京マガジンバンクカレッジ」では雑誌の魅力を「知る・創る・伝える」をコンセプトに連続セミナーや講演会等のイベントを実施します。ぜひ、ご参加ください！！

○連続セミナー「雑誌の過去・現在・未来」（雑誌総合セクション）

発行部数の減少や相次ぐ休刊など、雑誌はいま、かつてない危機を迎えています。その中で雑誌が果たす役割や活路はどこにあるのでしょうか。講師と会場をつなぐモデレーターとともに、雑誌編集の現場と実情について熟知した3名の講師から雑誌のこれからについてお話を伺います。

【第1回】「雑誌黄金時代に学ぶ」

～人生を変えた2誌『サライ』と『BE-PAL』を中心に～

日時 11月19日(日) 午後2時から午後4時まで

講師 岩本敏氏(元小学館情報誌編集局執行役員、『ビッグコミック』『少年サンデー』等の編集部員を経て、『BE-PAL』『サライ』『週刊日本の天然記念物』『ラピタ』『駱駝』等の編集長を歴任)

【第2回】「役に立つ雑誌、とは？」

日時 12月17日(日) 午後2時から午後4時まで

講師 久我英二氏(株式会社暮しの手帖社編集局長兼営業企画部長、元株式会社マガジンハウス執行役員編集局長)

【第3回】「雑誌の再起動」

日時 2月4日(日) 午後2時から午後4時まで

講師 仲俣暁生氏(フリー編集者、文筆家。ウェブサイト『マガジン航』編集発行人、著作に『再起動せよと雑誌はいう』(京阪神エルマガジン社)、編著『ブックビジネス2.0』(実業之日本社)等多数)

各回共通

会場 都立多摩図書館 セミナールーム(2階)

定員 各回120名程度(希望者多数の場合は抽選、無料)

※ 講演会后、図書館司書等によるマガジントークを実施するほか、関連する雑誌を展示します。

※ 1回のみでもご応募いただけます。

○現場探訪 ～雑誌『多摩のあゆみ』の魅力に迫る～(多摩セクション)

「茶の間の郷土誌」として40年以上にわたり多摩地域で愛されている、雑誌『多摩のあゆみ』の編集者の方に、その魅力をお話しいたします。あわせて、同誌を発行するたましん地域文化財団の「歴史資料室」を見学し、多様な多摩地域の資料を通して豊かな歴史や文化を学びます。

日時 2月21日(水) 午後2時30分から午後4時30分まで

会場 公益財団法人たましん地域文化財団 歴史資料室（国立市）
※ 現地集合、現地解散になります。
定員 20名程度（抽選）

詳しくは、都立図書館ホームページをご覧ください。

※ 申し込みもこちらから！！

<http://www.library.metro.tokyo.jp/tabid/4373/Default.aspx>

■東京マガジンバンク企画展示「雑誌の未来を考える」のお知らせ

~~*~*~*~*~*

出版不況が叫ばれる中で、雑誌は今後どこに向かっていくのでしょうか。都立多摩図書館所蔵の雑誌を中心に、雑誌の歴史や雑誌に関わる方たちのメッセージをご紹介します。あわせて、都立多摩図書館で行っている「東京マガジンバンクカレッジ」事業の1年間の成果をご紹介します。

会期 11月24日（金）から3月15日（木）まで
時間 午前10時から午後9時まで（土日祝日は午後5時30分まで）
会場 都立多摩図書館 展示エリア

■都立多摩図書館 11月・12月の16ミリフィルム映画会のお知らせ（入場無料）

~~*~*~*~*~*

日時 11月16日（木）、12月3日（日）、12月21日（木）
各日とも午後2時から

会場 都立多摩図書館 セミナールーム（2階）

定員 各回200名（先着順）

【上映作品】

・11月16日（木）

ドキュメンタリー「沈黙の世界」

（1956年制作／86分／仏伊合作映画）

※引き続き、午後3時40分から4時10分まで東京都水道局による講座「震災への水道の備え」を実施します。こちらもあわせてご参加ください。

・12月3日（日）

短編アニメ「レイモンド・ブリッグス特集」

①ファーザー・クリスマス

②スノーマン（短編アニメ2本立て／54分）

- ・ 12月21日(木)
劇映画「クリスマス・ツリー」
(1969年制作／108分／仏映画)

詳しくは、都立図書館ホームページの「都立多摩図書館映画会」のページをご覧ください。

http://www.library.metro.tokyo.jp/guide/tama_library/tabid/1415/Default.aspx

【3】Pick up 情報の泉

「ヒアリに騒然！－『外来生物』について調べる。」

～～*～*～*～*～*

この夏、日本にはいないと思われていた毒アリの、ヒアリが各地の港で発見され、日本中を震撼させました。そして、そのニュースは日本以外からくる生物『外来生物』について改めて考える機会となりました。

『外来生物』とは、外来生物法で「海外から我が国に導入されることによりその本来の生息又は生育地の外に存することとなる生物」と定められています。では、外来生物は私たちにとって敵なのでしょうか。危険生物に出会ったら私たちはどう対処したらよいのでしょうか。

今回のPick up 情報の泉では、『外来生物』に対する正しい知識を得るための図書館資料をご紹介します。

詳しくは都立図書館ホームページをご覧ください。

<http://www.library.metro.tokyo.jp/tabid/4409/Default.aspx>

【4】司書が選ぶ調べものに使える本

■『現代用語の基礎知識(2017)』自由国民社 2017

(都立中央図書館請求記号：R/813.7/11/2017)

～～*～*～*～*～*

世の中には、流行しては消えていく、新しい「言葉」や「物事」が無数に存在しています。いくら著名な国語辞典や百科事典でも、改訂は数年に一度なので、その速さに追いつくことはできません。そこで、「日本で唯一の新語年鑑」である『現代用語の基礎知識』をご紹介します。この年鑑は、1948年の創刊以降毎年出版されており、その年その年の流行・傾向が、この1冊を読めば掴めるようになっています。2017年版の項目

は「アモーレ」「コリジョンルール」「VR／AR」「水素水」など、多岐に渡ります。新しい言葉だけでなく、もう使われなくなった言葉や、昔流行した物事について、その当時発行された年鑑を読んでもみることもおすすめです。ぜひ使ってみてください。

【5】都市・東京情報

■クローズアップ都市・東京情報

～～*～*～*～*～*

都政や東京についてのニュースや話題をとりあげ、都立図書館の資料と、関連するインターネット情報をご紹介します。

最新号は『“TAMASHIMA”（多摩・島）を楽しむ』の巻です。

東京は大都会のイメージが強いですが、山の手や下町、多摩地域や伊豆諸島など、実は地域によって様々な特色があり、世界でも珍しい多彩な表情をもった首都です。

今回クローズアップする西多摩地域は、滝や溪谷、鍾乳洞をはじめとする雄大な自然が楽しめるエリアであり、平成23（2011）年に世界自然遺産に登録された小笠原諸島をはじめとする島しょ地域は、島特有の生態系や手つかずの自然に恵まれた特別な場所です。

東京都では、この地域を“TAMASHIMA”として、国内外からの旅行者が数多く訪れるように、ホームページやSNSなど様々なメディアを活用し、全世界の人々に向けて情報発信を行っています。

当館では、所蔵資料を中心に“TAMASHIMA”エリアの歴史や文化、見どころなど、地域の魅力を紹介します。都会だけではない自然豊かな東京を知っていただき、是非現地へお出かけください。未知なる新しい東京が発見できると思います。

詳しくは、都立図書館ホームページをご覧ください。

http://www.library.metro.tokyo.jp/edo_tokyo/tokyo/closeup/tabid/4417/Default.aspx

■東京情報月報

～～*～*～*～*～*

都市・東京情報担当が収集した東京都行政資料や地域資料の中から、毎月、新着資料をご紹介します。

詳しくは、都立図書館ホームページをご覧ください。

http://www.library.metro.tokyo.jp/edo_tokyo/tokyo/tokyo_month/tabid/1036/Default.aspx

【6】蔵書検索サービス等を一時休止します

図書館情報システムのメンテナンス作業に伴い、以下のとおり、ホームページ上のサービスを一時休止いたします。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

1 サービス休止予定日時

11月16日（木）午後9時から17日（金）午前9時頃まで

※メンテナンス終了次第、ご利用いただけます。

2 サービス休止内容

(1) 東京都立図書館蔵書検索

システム休止中は、都立図書館の所蔵資料を検索することができません。

(2) 東京都立図書館統合検索での東京都立図書館蔵書検索及びヘルプ

システム休止中は、都立図書館以外の図書館の所蔵資料のみ検索することができます。また、利用方法に関するヘルプ機能は利用できません。

(3) 登録利用者用の各種サービス

システム休止中は、利用者登録や登録利用者用の各種サービス（ネット予約、Eメールレファレンス及びEメールによる郵送複写申込）が利用できません。

休止直前に利用者登録及びネット予約等を行った場合、受付処理が遅延する場合があります。

=====

<<編集後記>>

今月号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。

中央図書館では、新たにキッズルーム（授乳室付き）をオープンしましたので、お子様連れの方々も、ぜひご利用ください。

来月号でまた、お会いできますよう、よろしくお願い致します。

=====

お知り合いに都立図書館のメールマガジンをご紹介ください。

→ <http://www.library.metro.tokyo.jp/tabid/2145/Default.aspx>

=====

メールマガジン配信停止のご連絡及びメールマガジンに関するご意見・ご要望は、このメールマガジンの返信でお受けしています。

→ S0200333★section.metro.tokyo.jp (★の前はエス・ゼロ・ニ・ゼロ・ゼロ・サン・サン・サンです。★は@に替えて送信してください)

=====

都立図書館T w i t t e r

→ https://twitter.com/tm_library

都立図書館F a c e b o o k

→ <https://www.facebook.com/tmlibrary>

=====

「都立図書館通信」編集部

(東京都立中央図書館管理部企画経営課内)

平成29年11月15日発行